

おもしろいことや耳より情報など、身近なまちのニュースがありましたらぜひお教えてください。
秘書人事課 ☎ 72-7646 ✉ koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp



2.28 食を目的とする 海外観光客にアピール

食を目的として海外からの観光客を呼び込む「三好市ガストロノミープロジェクト」の一環として、池田町西山の密厳寺で「三好市フェア」を開催しました。三好市の食のアンバサダーである大桃美代子さん、観光関係の事業者らを招待し、開発してきたメニューをPRしました。提供されたメニュー開発は料理家の堀知佐子先生の助言で、市内の飲食・宿泊事業者らが取り組んできました。



2.29～3.4 春季キャンプ 徳島インディゴソックス

徳島インディゴソックス春季キャンプが初めて三好市で実施されました。期間中は練習や試合の他、地域の方々との交流や市内小学校での授業、保育所やスポーツ少年団を対象とした野球教室も行われました。野球を通じ、多くの方との交流が図られ、ファンになる方もいました。今シーズンも徳島インディゴソックスへ熱い応援をお願いします。



2.24 四国の銘酒が 三好市に集結

四国酒まつり第25回地酒試飲会が池田総合体育館を中心に開催されました。四国の銘酒が一堂に会するとあって、県内外から多くの日本酒ファンが訪れました。午前、午後と2部入替性で、開場時間を過ぎるとすぐ、人気銘柄の前には長蛇の列が。愛好家らは次々に杯を重ね、早々にほろ酔い気分であちらこちらで乾杯の声が上がりました。



2.23 3年ぶり 装いも新たに 祖谷のかずら橋で渡り初め

3年ぶりに架け替えられた、国指定重要有形民俗文化財の祖谷のかずら橋で、竣工式と渡り初めが行われました。神事やテープカットなどに引き続き、西祖谷一宇の喜多 豊さんら3世代夫婦を先頭に、ゆらゆら揺れる真新しい橋を文化財、観光、かずら橋保勝会の関係者らが感觸を確かめながら渡りました。施工者のかずら橋保勝会藤原啓二会長は、「これからも持続していくためには後継者の育成が必須。若い人に携わってもらいたい」と、今後に向けて展望を語られました。



祝 100歳
三好 良枝さん
三野町太刀野山

2月20日、三好良枝さんが満100歳を迎えられました。三野町清水で、5人姉妹の長女として生まれ、東京の和洋女子大に入学し、裁縫教育を受けられました。21歳頃に結婚し2女に恵まれました。夫婦で八朔を育て、パンジーの種の採取もしていたそうです。現在は三野町の特別養護老人ホームで穏やかに過ごされています。これからもお元気でお過ごしください。



祝 100歳
山下 八次郎さん
井川町中岡

3月3日、山下八次郎さんが満100歳を迎えられました。山下さんは、井川町中岡で生まれ、23歳頃に結婚されました。2男1女に恵まれ、林業や農業に携わりました。自宅では、亡くなった奥さんが好きだった菊の花や野菜を育てています。大きな病気などになったことはなく、早寝早起きが元気の秘訣だそうです。これからもお元気でお過ごしください。



3.5 希望の灯を届けて 被災地支援へ大きな力

三好市婦人団体連合会は、会員から募った能登半島地震義援金1,041,557円を日本赤十字支部三好市地区長の高井市長に贈呈しました。市地区赤十字奉仕団川口好美委員長ら5人の委員が奉仕団の活動を紹介し、被災地の1日も早い復旧・復興を願いました。義援金は日本赤十字徳島県支部を通じて、石川、富山、新潟県に届けられます。



2.15 ラグビーの虜心を驚かす 大泉保育園のラグビー教室

大泉保育園で3～5歳児を対象にラグビー教室が行われました。このイベントは協町ラグビースクールがラグビーの普及のために行ったもので、約40名の園児たちは触り慣れないラグビーボールに休憩時間も惜しむほどに夢中になっていました。途中、年少の園児たちも見学するなどして、保育園全体でラグビー教室を楽しみました。最後にキッズ用のラグビーボールが保育園にプレゼントされ、終始楽しそうな声が園内に満ち溢れていました。

